



平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

長野県須坂市長 三木 正夫



### 中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

当市は、長野県の北に位置し、東に三国山地をもって群馬県吾妻郡嬭恋村に接する地形で、急峻な山地から、西に平坦な長野盆地の千曲川右岸へとつづく中山間地を抱える街で、自動車は重要な生活手段であります。地域の道路は、平成 5 年 3 月の上信越自動車道須坂長野東インターチェンジの開通により広域交通の利便性は向上しておりますが、その一方で広大な川幅の「千曲川」による近隣都市と結ぶ道路橋梁や、医療通学等生活に密着した道路の整備は依然その途上にあります。一方、都市部に目を向けると、人口の減少による中心市街地の空洞化など、都市構造については大きな変化が生じています。また、高齢化による老年人口の増加が著しいことから、これに対応した道路整備が必要となっております。

このたび、平成 19 年 4 月 2 日付、国道企第 114 号でご依頼のありました標記につきまして、下記のとおり意見を提出します。

#### 記

##### 1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について
  - ① 高速交通網整備に伴うアクセスの向上、中核都市長野市と須坂市を結ぶ道路、橋りょうの整備による交通渋滞の緩和
  - ② 市民生活に密着した道路の歩道設置促進
  - ③ 交差点の信号機設置促進・歩行者安全確保策の充実
- ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
  - ① 個別事業のスピードアップ
  - ② 沿道の住民などが道路管理にもっと参画できる取組み
  - ③ まちづくりへの効果検証
- ・ その他、道路政策や道路整備・管理全般について
  - ① 「自分が高齢となり、自動車を運転できなくなった場合を考えると不安だ。」という市民が大勢います。高齢者など移動制約者の外出を助ける手段として、また、環境負荷を軽減させるためにも公共交通機関の充実支援。
  - ② 地方の道路整備の実情に十分配慮され、地方の道路整備財源の確保・充実